

# MASTER VIEW USB 2.0 KVM SWITCH



ユーザーマニュアル

---

CS-1772

CS-1774

## 注意

この装置は FCC(米国連邦通信委員会)規則、パート 15 の副章 J に従い、デジタル装置クラス B の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起こすことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。



## 同梱品

### 基本パッケージ

以下のものが同梱されているか、ご確認ください。

#### CS-1772

- ◆ CS-1772 KVM スイッチ ×1
- ◆ USB KVM ケーブル(2L-5302UU:1.8m) ×2
- ◆ ファームウェアアップグレードケーブル ×1
- ◆ 電源アダプタ ×1
- ◆ ユーザーマニュアル(本書) ×1

#### CS-1774

- ◆ CS-1774 KVM スイッチ ×1
- ◆ USB KVM ケーブル(2L-5302UU:1.8m) ×4
- ◆ ファームウェアアップグレードケーブル ×1
- ◆ 電源アダプタ ×1
- ◆ ユーザーマニュアル(本書) ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本装置と接続されたデバイスの破損を防ぐために、本ユーザーマニュアルをご使用前によくお読みになり、正しい手順に従ってインストールし、ご使用ください。

© Copyright 2004 ATEN® International Co., Ltd.  
Manual Part No.PAPE-0232-1AT  
Printed in Taiwan 04/2004

製品名等は、各社の商標または登録商標です。

# 目次

本マニュアルについて	6
マニュアル表記について	6
第 1 章 はじめに	7
製品概要	7
製品特長	9
必要ハードウェア環境	10
コンソール	10
コンピュータ	10
ケーブル	10
製品各部説明	11
CS-1772/CS-1744 フロントパネル	11
CS-1772/CS-1774 リアパネル	13
第 2 章 ハードウェアセットアップ	14
ケーブル接続	14
ポート ID 番号	16
電源オフ、再起動	16
ホットプラグ	16
第 3 章 基本操作	17
手動によるポート切替	17
ホットキーによるポートアクセス	17
ポート切替え（サイクル切替え）	18
ポート切替え（ダイレクト切替え）	19
オートスキャン	20
第 4 章 ホットキーセッティングモード	21
ホットキーセッティングモードの起動	21
ホットキーセッティングモード起動 代替キー入力	22
ポート切替え 代替キー入力	22
キーボード設定	23
ホットキー設定の表示	24
USB リセット	24
ビーブ音 オン/オフ	24
ポート切替え無効化	24
ファームウェアアップグレードモード	25
デフォルト設定の復元	25
ホットキーセッティングモード 一覧	26

第 5 章 キーボードエミュレーション	27
Sun キーボードエミュレーション	27
Mac キーボードエミュレーション	28
第 6 章 ファームウェアアップグレードユーティリティ	29
アップグレードの前に	30
アップグレード開始	31
アップグレード成功	34
アップグレード失敗	34
付録	35
仕様	35
ホットキー デフォルト設定	35
トラブルシューティング	36
製品保証規定	37



# 第1章 はじめに

## 製品概要

---

master view™ CS-1772/CS-1774 は従来の KVM スイッチに新機能を導入した革命的な製品です。CS-1772/CS-1774 はそれぞれ 2 ポート/4 ポートとしてのコンピュータ切替機能に加え、Ethernet スイッチングハブと USB 2.0 対応ハブをそのコンパクトな本体に搭載しています。つまり本製品の導入によって、新たなデバイスを追加することなく、すべてのコンピュータをネットワークに接続し、USB デバイスを共有できます。

ユーザーは 1 組のコンソールを使用して、スイッチに接続された 2 台または 4 台のコンピュータを切替えて使用することができます。また高速な USB 2.0 規格対応の 2 ポート USB ハブを搭載しており、ハブに接続されたデバイスにはスイッチに接続した各コンピュータから自由にアクセスすることが可能、つまり CS-1772/CS-1774 を経由して、2 台の USB デバイスを 2 台または 4 台のコンピュータで共有することができます。

また CS-1772/CS-1774 はオーディオ環境にも配慮し、オーディオ入出力が可能になっています（スピーカー/マイクロフォン）。製品に同梱する KVM ケーブルにはミニオーディオジャックが付いており、接続するすべてのコンピュータでオーディオを使用することができます。

KVM コントロール、USB ハブ、オーディオはそれぞれ独立切替が可能です。あるコンピュータで USB デバイスを使用中であっても、KVM コントロールのみを他のポートに接続されたコンピュータへ切替えることができます。例えば、1 台のコンピュータでプリンタタスク実行中に、他のコンピュータでオーディオ機能を使用し、また同時に別のコンピュータでオフィスアプリケーションの作業を行うことも可能になります。CS-1772/CS-1774 の導入によって、コンピュータ毎に USB ハブを購入したり、プリンタサーバ、モデムスプリッターなどの USB 共有デバイスを購入したりすることが不要になります。

CS-1772/CS-1774 のセットアップは非常に簡単です。ケーブルをそれぞれの適切なポートに接続するだけです。ソフトウェアやドライバのインストールも不要、互換性の問題に悩まされることもありません。また、キーボードのエミュレーション可能なので、キーマッピングが異なる複数のプラットフォーム(PC 互換、Sun、Mac)を操作することが可能です。

master view™ CS-1772/CS-1774 の導入より時間とコストの節約になる方法はありません。接続されたすべてのコンピュータに 1 組のコンソールでアクセスして操作できるため、以下のような効果を得ることができます。

- ◆ それぞれのコンピュータにキーボード、マウス、モニタを購入する費用を削減
- ◆ 余分なスペースを取らず、スペースの有効利用が可能
- ◆ 省電力
- ◆ コンピュータから他のコンピュータへと絶えず動き回る無駄な労力を削減

## 製品特長

---

- ◆ マルチファンクション USB KVM スイッチーUSB ハブ/Ethernet スイッチングハブ/オーディオ
- ◆ 1 台のコンソールで 2 台 (CS-1772)/4 台 (CS-1774) のコンピュータを切替操作、USB デバイスを 2 台接続可能 (USB 2.0 準拠)
- ◆ KVM/USB デバイス/オーディオは独立切替が可能
- ◆ ポート切替方法ー本体フロントパネルのプッシュボタン、ホットキー
- ◆ USB 2.0 準拠ー転送レート 1.5M/12/480Mbps
- ◆ オートディテクトー最初に電源オンになったコンピュータに自動切替
- ◆ 対応プラットフォームーWindows 98SE/ME/2000/XP、Mac OS 8.6 以降、Sun Solaris 8 以降、Linux カーネル 2.4 以降
- ◆ Ethernet スイッチングハブ仕様: IEEE802.3/IEEE802.3u、10BASE-T/100BASE-TX、Auto MDI/MDIX、Full/Half Duplex Auto-Negotiation
- ◆ ホットプラグ対応
- ◆ KVM・USB コントロールの状態は LED で表示
- ◆ オートスキャン機能搭載
- ◆ USB キーボード・マウス エミュレーション
- ◆ VGA 解像度ー最大 2,048 × 1,536; DDC2B 準拠
- ◆ ファームウェアアップグレード可能

## 必要ハードウェア環境

### コンソール

- ◆ 接続するコンピュータの解像度に適した VGA、SVGA またはマルチシンク対応モニター
- ◆ USB キーボード
- ◆ USB マウス
- ◆ スピーカー/マイクロフォン(オプション)


### コンピュータ

接続するコンピュータが以下の装置を搭載している必要があります。

- ◆ VGA、SVGA またはマルチシンクカード
- ◆ USB タイプ A ポート
- ◆ ミニオーディオジャック(オプション)

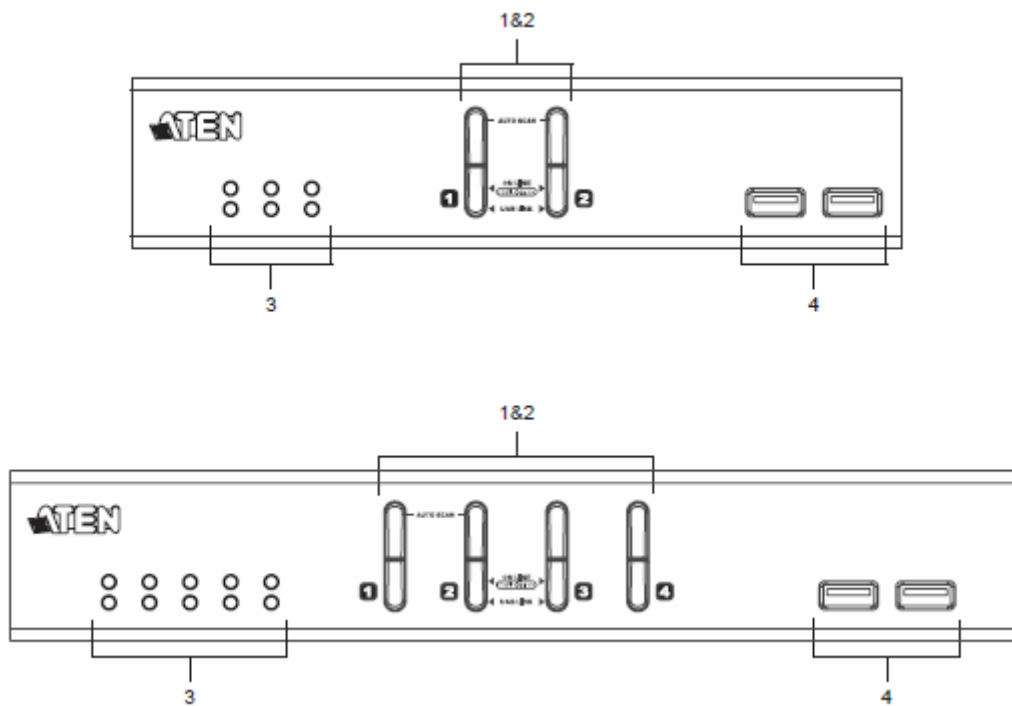
### ケーブル

規格外のケーブルを使用すると、接続機器を破損することや、機器の性能を低下させることがあります。理想的な状態でデータ転送を行うためにも、またシステムのレイアウトを単純化させるためにも、以下の CS-1772/CS-1774 対応 KVM ケーブルをご使用になることを推奨いたします。

製品画像	機能	型番と長さ	
	<b>USB KVM ケーブル</b>	2L-5302UU (1.8m)	
	スイッチ側		SPHD-15(緑) × 1 ミニオーディオジャック × 2
	コンピュータ側		USB タイプ A × 2(紫 & 黒) HDB-15 オス × 1 ミニオーディオジャック × 2

# 製品各部説明

## CS-1772/CS-1744 フロントパネル



### 1. ポート選択ボタン

CS-1772 は、KVM コントロール/USB デバイス/オーディオがそれぞれ独立切替え可能です。ボタンを押している時間によって操作が区別されています。

- ◆ ポート選択ボタンを 2 秒以上押したままにすると、KVM コントロール/USB ハブ/オーディオすべての選択が対応するポートに接続されたコンピュータに切替わります。
- ◆ ポート選択ボタンを押して、2 秒以内に離すと KVM コントロールのみが対応するポートに接続されたコンピュータに切替わります。
- ◆ ボタン 1 と 2 を同時に 2 秒以上押したままにするとオートスキャンモードになります。(詳細は P.20)

---

## 2. ポート LED

ポート LED はポート選択ボタンに内蔵されています。上部の LED が KVM ポート LED、下部の LED が USB LED です。

### KVM ポート LED

- ◆ LED が**暗いオレンジ**に点灯しているときは、対応するポートに接続されたコンピュータの電源がオンであることを示します。
- ◆ LED が**明るいオレンジ**に点灯しているときは、対応するポートが KVM コントロールで選択されていることを示します。
- ◆ LED が点滅しているときは、対応するポートに接続されたオートスキャンモードでアクセスされていることを示します。

### USB LED

- ◆ LED が**暗いグリーン**に点灯しているときは、USB ケーブルがコンピュータに接続されていることを示します。LED が点灯していないときは、USB ケーブルが接続されていないことを示します。
- ◆ LED が**明るいグリーン**に点灯しているときは、対応するポートに接続されたコンピュータが、USB ハブに接続されたデバイスにアクセスしていることを示します。

---

## 3. Ethernet LED

Ethernet LED は対応するポートのデータ転送について表示します。

LAN Link	OFF	ポートに接続されたコンピュータがデータ転送不可であることを示します。
	ON	ポートに接続されたコンピュータがデータ転送可能であることを示します。
10/100Mbps	点滅	対応するポートでデータ転送が行われていることを示します。
	OFF	データ転送速度が 10Mbps です。
	ON	データ転送速度が 100Mbps です。

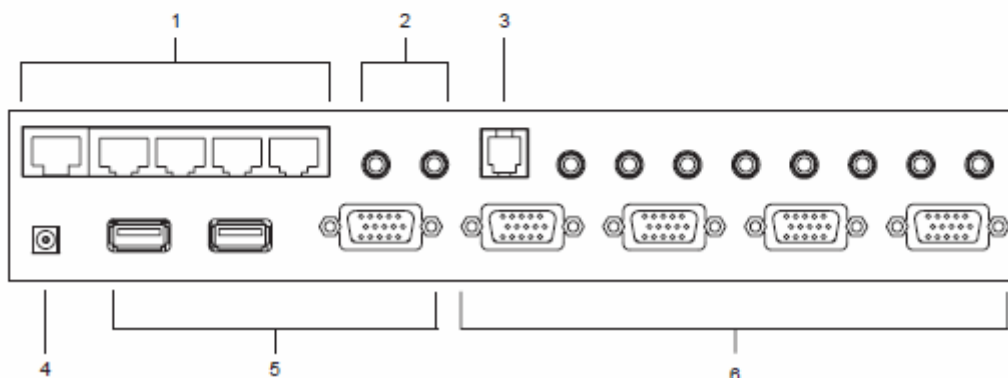
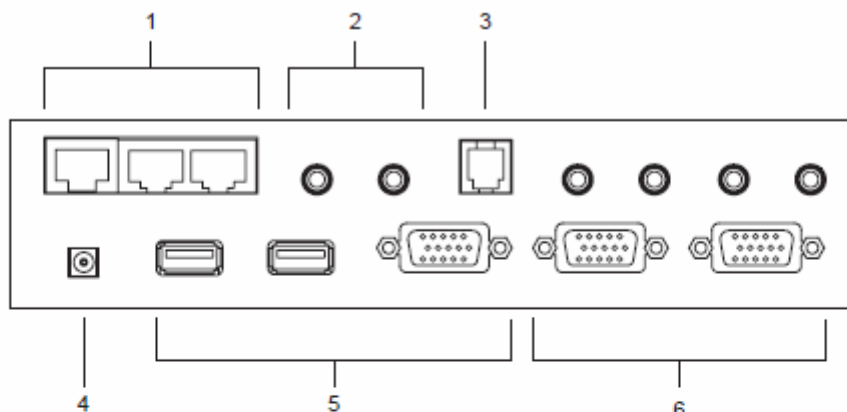
---

## 4. USB 2.0 ハブ

USB 2.0 準拠のハブです。こちらに接続した USB デバイスはそれぞれのコンピュータで共有することができます。

---

## CS-1772/CS-1774 リアパネル



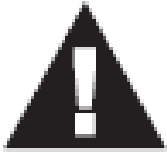
1. Ethernet スイッチングハブ	カテゴリ 5 LAN ケーブルを使用して各コンピュータをネットワークに接続することができます。
2. コンソールオーディオポート	コンソールで使用するマイクロフォン・スピーカーのミニオーディオジャックを接続します。
3. ファームウェアアップグレードポート (RJ-11 コネクタ)	同梱のファームウェアアップグレードケーブルを使用し、最新版のファームウェアパッケージを保存した管理者のコンピュータと接続します。アップグレードの手順については P.25 をご参照ください。
4. 電源ジャック	電源アダプタのケーブルをこちらに接続します。
5. コンソールポートセクション	コンソールで使用する USB キーボード、USB マウス、モニタのケーブルをこちらに接続します。
6. コンピュータポートセクション	製品同梱の KVM ケーブルを使用してスイッチとコンピュータを接続します。

**注意:** こちらの SPHD-15 コネクタは USB キーボード・USB マウス・ビデオ、USB デバイスのデータをひとつのポートで転送するために設計された特殊なコネクタです。誤って通常の VGA の 15 ピンコネクタを接続しないようご注意ください。

# 第2章

## ハードウェアセットアップ

### セットアップの前に



1. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピュータの電源ケーブルも抜いてください。
2. コンピュータやデバイスへのダメージを避けるために、接続されているすべてのデバイスが正しくアースされていることを確認してください。

### ケーブル接続

---

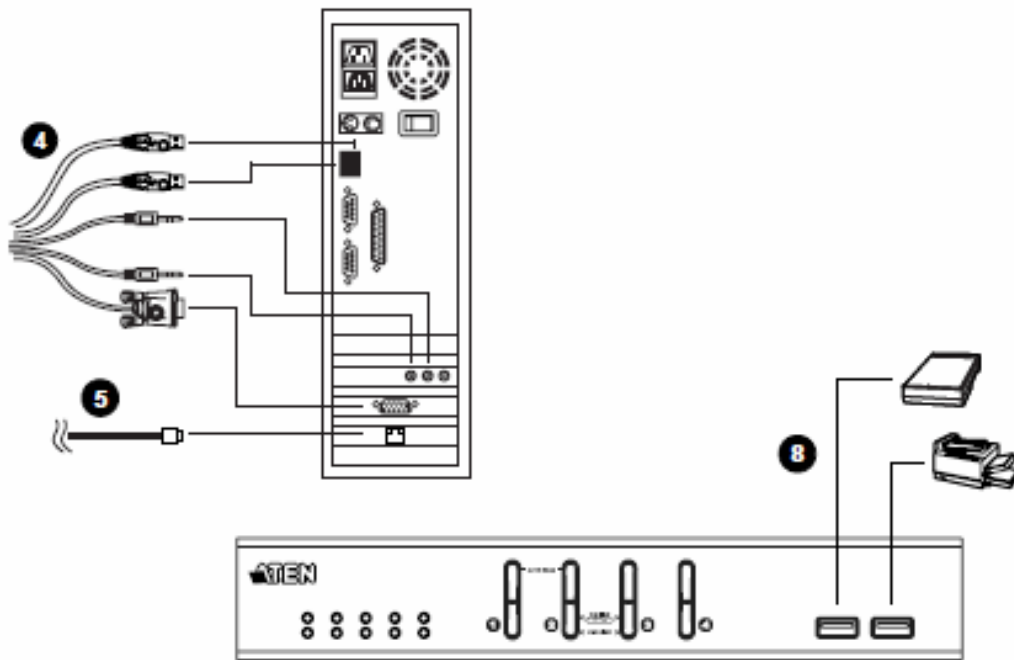
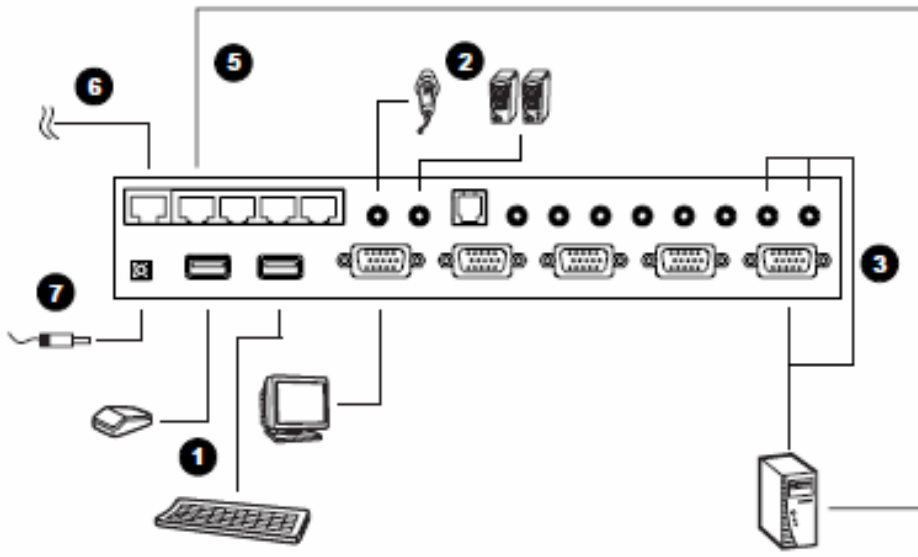
CS-1772/CS-1774 のセットアップは次ページの図を参考にしながら、以下の手順に従い作業を進めてください。

1. お使いになる USB キーボード・USB マウス、モニタのケーブルをリアパネルのコンソールポートに接続してください。
2. お使いになるスピーカー、マイクロフォンのケーブルをリアパネルのコンソールオーディオポートに接続してください。
3. 同梱の KVM ケーブルセットの SPHD-15 コネクタ、ミニオーディオジャックをリアパネルのコンピュータポートに接続します。

**注意:**

- 1) 同一ケーブルのコネクタはすべて同一のコンピュータポートに接続してください。
  - 2) ポートには接続するコネクタのアイコンが表示されています。
4. KVM ケーブルの別の一端の各ケーブル (USB タイプ A × 2、HDB-15 オス、オーディオ × 2) をコンピュータに接続します。
  5. カテゴリ 5 LAN ケーブルを使用して、スイッチリアパネルの Ethernet スイッチングハブポートとコンピュータの LAN ポートを接続してください。接続するコンピュータそれぞれに対し 3.~5. のステップを繰り返してください。
  6. カテゴリ 5 LAN ケーブルを使用して、スイッチをネットワークに接続します。
  7. 電源アダプタをリアパネルの電源ジャックに接続してから、AC 電源コンセントに接続してください。
  8. フロントパネルの USB 2.0 ハブに接続するデバイスを接続してください。

これでセットアップは完了です。接続したコンピュータの電源をオンにしてください。



## ポート ID 番号

---

CS-1772/CS-1774 のコンピュータポートにはポート番号が割り当てられています。対応するポート番号はリアパネル コンピュータポートに記されています。(P.13 参照)

CS-1772—ポート 1 およびポート 2

CS-1774—ポート 1～ポート 4

コンピュータのポート ID は、そのコンピュータを接続したポート番号に対応します。例えばポート 3 に接続されたコンピュータのポート ID は 3 になります。

ポート ID は KVM、USB、オーディオのコントロールをホットキーによって切替えるときに使用します。詳細は P.18 をご参照ください。

## 電源オフ、再起動

---

CS-1772/CS-1774 を取り外す必要がある場合は、再接続の前に以下の手順に従ってください。

1. CS-1772/CS-1774 に接続している全てのコンピュータをシャットダウンしてください。

**注意:**

キーボード起動機能がついているコンピュータが接続されている場合は、そのコンピュータの電源アダプタも抜かなければいけません。そうしないとコンピュータは電源が供給されている状態のままになっています。

2. スイッチに接続した電源アダプタを抜いてください。
3. スイッチへの電源アダプタ再接続は 10 秒以上待つてから行ってください。
4. スイッチに電源が供給されたのを確認した後にコンピュータの電源を入れてください。

## ホットプラグ

---

CS-1772/CS-1774 は USB ホットプラグに対応しています。コンポーネントはシャットダウンせずにスイッチへの接続・取り外しが可能です。

# 第 3 章

## 基本操作

### 手動によるポート切替

---

CS-1772/CS-1774 のポート切替は、フロントパネルの切替ボタンを押す、または便利なホットキー操作によって行います。ホットキー操作については第 4 章で説明します。

ボタンを直接押してポートを切り替えるには：

- ◆ フロントパネルのポート選択ボタンを押してすぐに離すと、KVM コントロールのみが押したボタンに対応するポートに切り替わります。LED 表示は押した KVM コントロールのグリーンのみが点灯します。この操作では USB デバイスとオーディオの選択は切り替わりません。
- ◆ ポート選択ボタンを 2 秒以上押したままにすると、KVM コントロール・USB デバイス・オーディオすべての選択に対応するポートに切り替わります。LED 表示も押したポート側がすべて点灯します。
- ◆ ポート選択ボタン 1 と 2 を同時に 2 秒以上押したままにするとオートスキャンモードになります。詳細は P.20 をご参照ください。
- ◆ オートスキャンモード中に任意のポート選択ボタンを押すとオートスキャンを中止し、そのポートに KVM コントロールを切り替えます。

### ホットキーによるポートアクセス

---

ホットキーによるポート切替え操作は、すべて[Scroll Lock]キー2 度押しから開始します。[Scroll Lock]キー2 度押し後に、更に特定のキー入力を行うことによってホットキーコマンドを実行します。

**注意：**

[Scroll Lock]キーが他のアプリケーション操作と競合を起こす場合のために、ホットキーセッティングモードで[Ctrl]キーに設定変更することが可能です。詳細は P.21 をご参照ください。

## ポート切替え（サイクル切替え）

ホットキー	機能
<p>[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]</p>	<p>KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に次のポートに切替えます。切替え順は以下のとおりです。            CS-1772: 1→2→1→2→……            CS-1774: 1→2→3→4→1→2→……</p> <p><b>注意:</b>            この操作を行うと、USB ハブやオーディオが現在のコンピュータで使用中でも強制的に次のポートに切替わります。</p>
<p>[Scroll Lock] [Scroll Lock] [K] [Enter]</p>	<p>KVM コントロールのみを次のポートに切替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。</p>
<p>[Scroll Lock] [Scroll Lock] [U] [Enter]</p>	<p>USB ハブのみを次のポートに切替えます。KVM およびオーディオ選択は現在のポートのままです。</p>
<p>[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S] [Enter]</p>	<p>オーディオのみを次のポートに切替えます。KVM およびUSB ハブ選択は現在のポートのままです。</p>

## ポート切替え（ダイレクト切替え）

※表中の[n]は切替えたいポート番号を示します

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に指定したポートに切替えます。  注意： この操作を行うと、USB ハブやオーディオが現在のコンピュータで使用中でも強制的に次のポートに切替わります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [Enter]	KVM コントロールのみを指定したポートに切替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [Enter]	USB ハブのみを指定したポートに切替えます。KVM およびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [S] [Enter]	オーディオのみを指定したポートに切替えます。KVM および USB ハブ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [U] [Enter]	KVM コントロールおよび USB ハブを指定したポートに切替えます。オーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [S] [Enter]	KVM コントロールおよびオーディオを指定したポートに切替えます。USB ハブは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [S] [Enter]	USB ハブおよびオーディオを指定したポートに切替えます。KVM コントロールは現在のポートのままです。

## オートスキャン

CS-1772/CS-1774 のオートスキャン機能は、一定間隔で自動的に KVM コントロールを切替えます。この機能によって、手動で操作しなくても接続されたすべてのコンピュータの状態を監視できます。ホットキー操作については以下の表をご参照ください。

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVM コントロールが <b>5 秒間隔</b> で切替わります。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [n] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVM コントロールが <b>指定した間隔(1~99 秒)</b> で切替わります。

### 注意:

1. 表中の[n]は 1~99 の任意の数字を入力します。こちらの設定によってオートスキャンで各ポートモードを表示するインターバル時間となります(単位:秒)。
2. オートスキャンモードでは設定した間隔でモニタ表示を次々に切替えますが、キーボード・マウス・USB ハブに接続されたデバイス・オーディオの各選択は、オートスキャンを開始したポートで固定された状態となります。
3. オートスキャン実行中、キーボード・マウス入力はサスペンド状態となり、オートスキャン中に有効なキー操作のみ([Esc]キーまたはスペースキー)が反映されます。

オートスキャンを停止する場合には[Esc]キー、スペースキーまたは直接本体フロントパネルのポート選択ボタンを押してください。

# 第4章

## ホットキーセッティングモード

---

ホットキーセッティングモードでは CS-1772/CS-1774 の設定を行います。すべての操作はホットキーセッティングモードを有効にしてから行います。

### ホットキーセッティングモードの起動

1. [Num Lock]キーを押したままにします
2. [-]マイナスキーを押して、すぐに離します
3. [Num Lock]キーを離します

#### 注意:

- 1) ホットキーセッティングモードの起動は他のキー操作でも可能です。下記をご参照ください。
- 2) [-]マイナスキーを押している時間は 0.5 秒以内になるようにしてください。そうしないと操作がキャンセルされます。

ホットキーセッティングモードが有効になると、キーボードの Caps Lock、Scroll Lock LED が交互に点滅します。ホットキーセッティングモードを終了すると LED は通常の状態に戻ります。

またホットキーセッティングモード中は、HSM で有効な操作以外、通常のキーボード・マウス入力はすべて無効になります。ホットキーセッティングモードでの操作は、コマンド実行後にセッティングモードが解除されるものと、継続するものがあります。手動でセッティングモードを終了するには、[Esc]キーまたはスペースキーを押してください。

## ホットキーセッティングモード起動 代替キー入力

---

デフォルトのホットキーセッティングモード起動キー入力 ([Num Lock]+[-]) がコンピュータで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合のために、[Ctrl]+[F12]という入力も可能です。設定変更には以下の操作を行ってください。

1. デフォルトの入力でホットキーセッティングモードを有効にします。
2. [H]キーを入力します。

この操作によって、ホットキーセッティングモードで使用する[Num Lock]キーが[Ctrl]キーに、[-]キーが[F12]キーに変更されます。

### 注意:

この操作は[Num Lock]+[-]、[Ctrl]+[F12]の組み合わせを交互に切替えて設定します。デフォルトの[Num Lock]+[-]に戻す場合は、もう一度この操作を行ってください。

## ポート切替え 代替キー入力

---

ポート切替えに使用する[Scroll Lock]キーがコンピュータで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合のために、[Ctrl]キーを使用することができます。設定変更には以下の操作を行ってください。

1. デフォルトの入力でホットキーセッティングモードを有効にします。
2. [T]キーを入力します。

この操作によって、ポート切替えで使用する[Scroll Lock]キーが[Ctrl]キーに変更されます。

### 注意:

この操作は[Scroll Lock]、[Ctrl]を交互に切替えて設定します。デフォルトの[Scroll Lock]に戻す場合は、もう一度この操作を行ってください。

## キーボード設定

---

CS-1772/CS-1774 に接続するキーボードについて、キーマッピングはデフォルトで PC 互換プラットフォーム (Win、Linux) に設定されています。Mac キーボードを接続する場合は、以下の操作で設定変更を行ってください。

1. KVM コントロールを目的のポートに合わせます。
2. ホットキーセッティングモードを有効にします。
3. プラットフォームに合わせた設定のファンクションキーを入力します (下表参照)。

ファンクションキー入力後、ホットキーセッティングモードは自動的に終了します。

ファンクションキー	機能
[F2]	Mac 対応に設定
[F3]	Sun 対応に設定
[F10]	OS を自動検出します。(PC 互換機用)

### 注意:

Sun システムを接続する場合は、最初にそのポートのキーボード設定を Sun 対応に変更しておかなくてはなりません。そうしないと Sun システムをポートに接続しても起動することはできません。

## ホットキー設定の表示

---

現在のホットキー設定を表示するには、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。
2. [F4]ファンクションキーを入力します。
3. クリップボードに現在のホットキー設定情報がコピーされていますので、テキストエディタ等を開いてペーストしてください。

## USB リセット

---

USB デバイスがコントロールを失いリセットする必要がある場合は、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。
2. [F5]ファンクションキーを入力します。

## ビープ音 オン/オフ

---

ポート切替え時に鳴るビープ音を無効にするには以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。
2. [B]キーを入力します。

この操作を行うと、画面に *Beeper ON* または *Beeper OFF* が 1 秒間表示されます。メッセージが消えると共にホットキーセッティングモードも終了します。

## ポート切替え無効化

---

ポート切替えに使用する[Scroll Lock]キー2度押し(または[Ctrl]キー2度押し)を無効にしたい場合は、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。
2. [X] [Enter]を入力します。

### 注意:

無効にしたキー入力を元に戻す場合にはもう一度この操作を行ってください。

## ファームウェアアップグレードモード

---

CS-1772/1774 のファームウェアアップグレードを行う場合は以下の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。
2. キーボードで *upgrade* と入力します。
3. [Enter]を入力します。

この操作を行うとフロントパネルの LED が点滅し、ファームウェアアップグレードモードで動作中であることを示します。ファームウェアアップグレードモードを終了する場合は、スイッチの電源をオフにしてください。

## デフォルト設定の復元

---

CS-1772/CS-1774 のホットキー設定をすべてデフォルトの状態に戻すには、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。
2. [R] [Enter]を入力します。

この操作によりすべての設定変更がリセットされ、デフォルトの状態に戻ります。

## ホットキーセッティングモード 一覧

ホットキーセッティングモードを有効にした後、追加で入力するキーとその機能は以下のようになっています。

追加キー入力	機能
[H]	ホットキーセッティングモード起動キーを変更
[T]	ポート切替えキーを変更
[F2]	キーボードマッピングを Mac 対応に設定
[F3]	キーボードマッピングを Sun 対応に設定
[F10]	キーボード設定の自動検出 (PC 互換)
[F4]	現在のホットキー設定をテキストエディタで表示
[F5]	USB リセット
[B]	ビープ音のオン/オフ
[X] [Enter]	ポート切替えキーの有効/無効
[R] [Enter]	デフォルト設定の復元
<i>upgrade</i> [Enter]	ファームウェアアップグレードモード

# 第5章 キーボードエミュレーション

## Sun キーボードエミュレーション

コンソールが PC 互換キーボード(101/104 キー)であっても、エミュレーション機能により Sun キーボードの特殊キーを[Ctrl]キーとの組み合わせにより使用可能になります。詳細は下記の表をご参照ください。

**注意:**

入力の際は同時に押すのではなく、[Ctrl]キーを押して離し、その後アクティベーションキーを押してすぐに離してください。

PC 互換キーボード	Sun キーボード
[Ctrl]、[T]	Stop
[Ctrl]、[F2]	Again
[Ctrl]、[F3]	Props
[Ctrl]、[F4]	Undo
[Ctrl]、[F5]	Front
[Ctrl]、[F6]	Copy
[Ctrl]、[F7]	Open
[Ctrl]、[F8]	Paste
[Ctrl]、[F9]	Find
[Ctrl]、[F10]	Cut
[Ctrl]、[1]	 ミュート
[Ctrl]、[2]	 ボリュームダウン
[Ctrl]、[3]	 ボリュームアップ
[Ctrl]、[4]	
[Ctrl]、[H]	Help
Win Key	Compose

## Mac キーボードエミュレーション

コンソールが PC 互換キーボード(101/104 キー)であっても、エミュレーション機能により Mac キーボードの特殊キーを使用可能になります。詳細は下記の表をご参照ください。

**注意:**

入力の際は同時に押すのではなく、[Ctrl]もしくは[Alt]キーを押してすぐに離し、その後アクティベーションキーを押してすぐに離してください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
[Win]	
F12	
[Alt]	左 Alt/オプション
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
[Desktop Menu]	=
[Enter]	Return
[Back Space]	Delete
[Ins]	Help
[Ctrl] [Desktop Menu]	F15
[Ctrl] [1]	ミュート
[Ctrl] [2]	ボリュームダウン
[Ctrl] [3]	ボリュームアップ

# 第 6 章

## ファームウェア アップグレード ユーティリティ

---

Windows ベースのファームウェアアップグレードユーティリティは、スムーズかつ簡単な操作で KVM スイッチのファームウェアをアップグレードすることができます。

ファームウェアアップグレードパッケージはデバイス別に用意されています。新しいファームウェアパッケージは弊社 web サイトで公開されます。機器を最新の状態に保つために、定期的に弊社 web サイトをご覧ください。

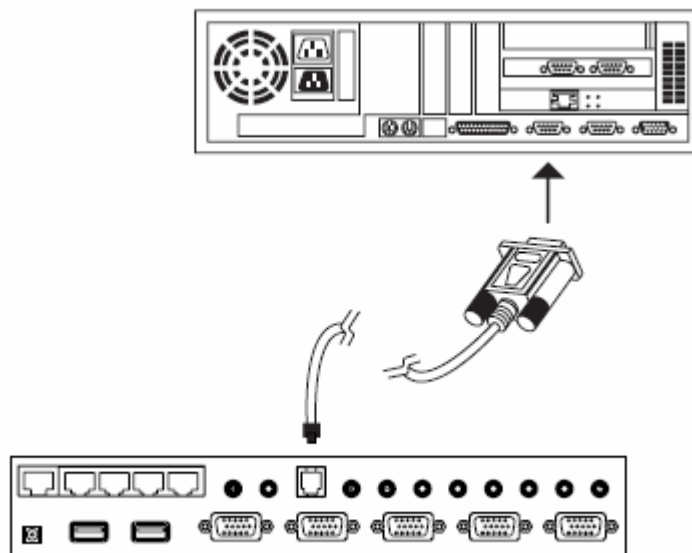
<http://www.atenjapan.jp/>

## アップグレードの前に

---

ファームウェアアップグレードの前に以下の手順に従って準備を行ってください。

1. KVM スイッチに接続されているコンピュータとは別に、インターネット接続可能なコンピュータを用意してください。弊社 web サイトにアクセスして製品型番で検索し、ファームウェアのリストから CS-1772/CS-1774 の最新版パッケージを選択してください。
2. 最新版パッケージをダウンロードし、コンピュータの任意のディレクトリに保存してください。
3. 同梱のファームウェアアップグレードケーブルを使用して、パッケージを保存したコンピュータの COM ポートとスイッチ リアパネルのファームウェアアップグレードポートを接続します。



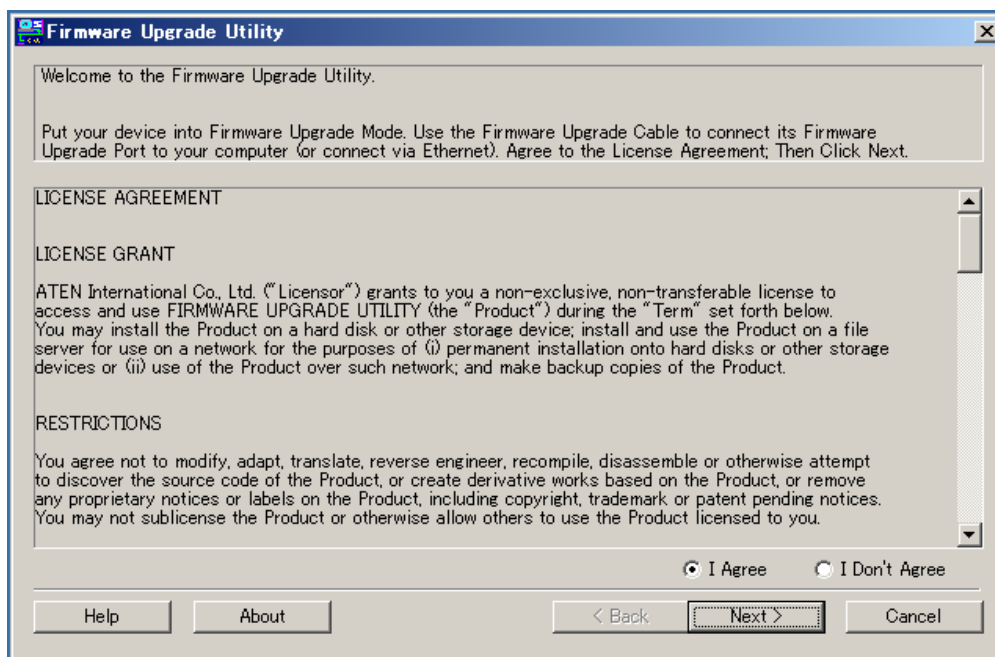
4. スイッチに接続されたコンピュータをシャットダウンします。
5. スイッチをファームウェアアップグレードモードにします（詳細は P.25）。フロントパネルの LED が点滅し、ファームウェアアップグレードモードで動作中であることを示します。

これでアップグレードの準備が整いました。

## アップグレード開始

以下の手順に従ってアップグレード作業を進めてください。

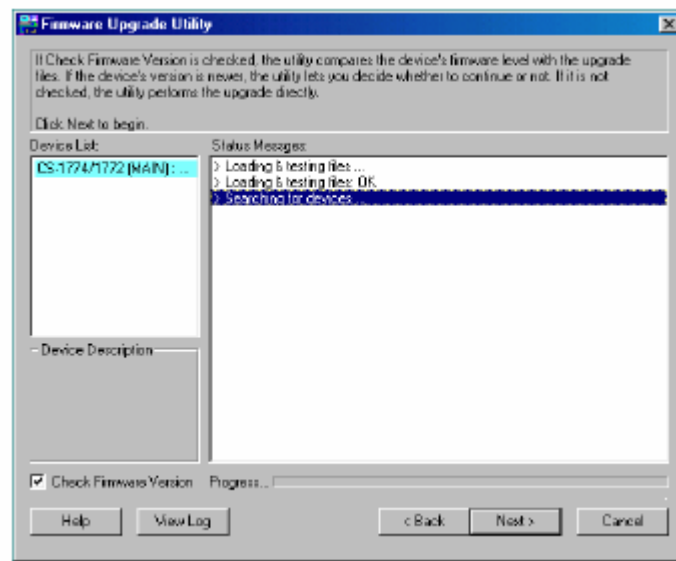
1. ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージをダブルクリックまたはコマンドラインでフルパスを入力して実行します。以下のようなライセンス認証確認画面が表示されます。



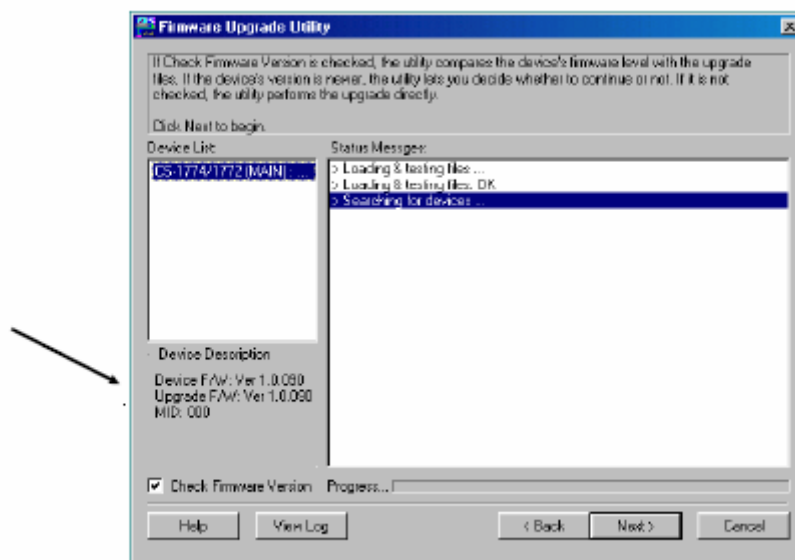
注意: 実際に表示される確認画面は、このスクリーンショットと異なる場合があります。

2. ライセンス規約に同意したら「I Agree」ラジオボタンをオンにして、「Next」を押して次に進んでください。

3. 「Next」を押すとファームウェアアップグレードユーティリティメイン画面が表示されます。Device List フィールドに、アップグレード可能なデバイスが表示されます。

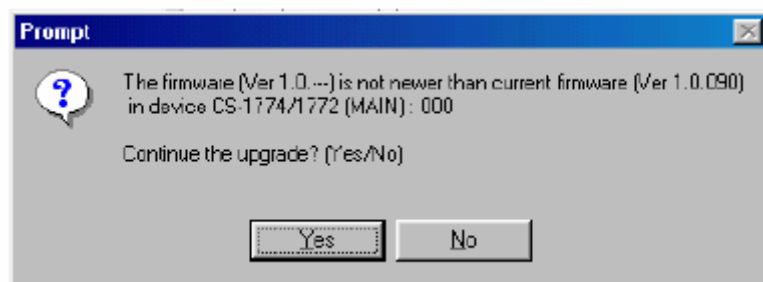


4. 「Device List」フィールドで選択されたデバイスの詳細が、画面左下の「Device Description」パネルに表示されます。



5. デバイスを選択後、「Next」をクリックしてアップグレードを実行します。

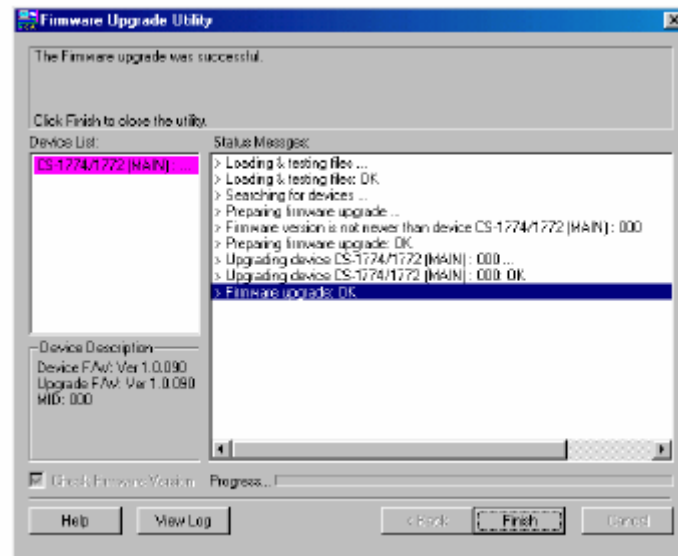
ここで Check Firmware Version にチェックが入っている場合、ユーティリティは現在のファームウェアバージョンとアップグレードパッケージのバージョンを比較します。もし現在使用のバージョンがアップグレードパッケージよりも高い場合は、このようなダイアログボックスが表示され、アップグレード実行継続/中止の確認を行います。



Check Firmware Version にチェックが入っていない場合、ユーティリティはバージョン比較をせずにアップグレードを行います。アップグレードの進捗状況はステータスフィールドとプログレスバーで表示されます。

## アップグレード成功

アップグレード完了後、アップグレード成功のメッセージが表示されます。



「Finish」を押してファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。  
ユーティリティ終了後、スイッチは自動的にファームウェアアップグレードモードを終了しますので、  
接続しているコンピュータの電源をオンにしてください。

## アップグレード失敗

アップグレード成功画面が表示されない場合は、アップグレードが正常に終了しなかったことを意味します。もう一度最初のステップからアップグレード作業をやり直してください。

# 付録

## 仕様

機能		GS-1772	GS-1774
コンピュータ接続数		2	4
ポート選択		プッシュボタン、ホットキー	
コンソール側 コネクタ	キーボード	USB タイプ A × 1	
	マウス	USB タイプ A × 1	
	モニタ	HDB-15 メス × 1	
	オーディオ	ミニオーディオジャック × 2	
コンピュータ側 コネクタ	キーボード/マウス/ ビデオ/USB ハブ	SPHD-15 メス × 2	SPHD-15 メス × 4
	オーディオ	ミニオーディオジャック × 4	ミニオーディオジャック × 8
USB ハブ		USB タイプ A (USB 2.0 準拠) × 2	
LED	KVM	オレンジ × 2	オレンジ × 4
	USB	グリーン × 2	グリーン × 4
	リンク	グリーン × 3	グリーン × 5
	10/100Mbps	グリーン × 3	グリーン × 5
電源ジャック		× 1	
ファームウェアアップグレードポート		RJ-11 × 1	
スキャンインターバル		1~99 秒(ユーザー設定)/5 秒(デフォルト)	
キーボード/マウス エミュレーション		USB	
VGA 解像度		2,048 × 1,536; DDC2B 準拠	
電源仕様		DC 5.3V; 2.4A	
消費電力		4.5W; 900mA	5W; 1000mA
動作環境	動作温度	0~50°C	
	保管温度	-20~60°C	
	湿度	0~80%RH 結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		710g	920g
サイズ (W×D×H)		210 × 88 × 55.5mm	270 × 88 × 55.5mm

## ホットキー デフォルト設定

設定	デフォルト値
ポート切替	[Scroll Lock][Scroll Lock]
ホットキーセッティングモード	[Num Lock]+[-]
ビープ音	オン
キーボードレイアウト	PC 互換
ポート切替キー入力	有効

## トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処
動作が不安定	供給電力が不十分	USB バス経由の電力が不足している ので、別売の AC 電源アダプタが 必要です。 型番: 0AD8-0005-21B
キーボード/マウスが反応 しない	キーボード/マウスのリセットが 必要	キーボード/マウスのケーブルを一 度抜いて接続し直してください。  (CS-1734A のみ) フロントパネル ポート選択プッシュ ボタン 1 と 2 を 2 秒以上押し続け てください。
	キーボード/マウスのケーブル が適切に接続されていない	各ケーブルが適切に接続されてい るか確認してください。
	KVM スイッチのリセットが必要	接続したすべてのデバイス・KVM ス イッチの電源をオフにしてください。 オフにして 5 秒以上待ってから、再 起動してください。詳細は P.16 をご 参照ください。
USB ハブに接続したデバ イスが反応しない	USB リセットが必要	リアパネルに接続した USB デバイ スのコネクタを接続し直します。 USB リセットホットキーを実行しま す。詳細は P.24 をご参照ください。
USB ハブに接続されたデ イバスが Windows で正しく 認識されない	デバイス接続順序の問題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンピュータに接続した KVM ケーブルの USB コネクタを抜きます。</li> <li>2. Windows のデバイスマネージャから「！」マークのついた不明なデバイスを削除します。</li> <li>3. KVM ケーブルの USB コネクタを接続し直すと、Windows がデバイスを再認識します。</li> </ol>
Sun システムが起動しない	コンピュータポートのプラット フォーム設定が必要	Sun システムを接続する場合は、先 にポートのプラットフォーム設定を 行う必要があります。P.23 の説明 にしたがって正しく設定してくださ い。
Mac キーボードに [Scroll Lock] や [Num Lock] キー がない	Mac キーボードにはそれらの キーが無いレイアウトのもの があります	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホットキー代替キーの [F14] を使用してください。詳細は P.28 をご参照ください。</li> <li>・[Num Lock] キーの代わりに Clear キーを使用してください。</li> </ul>

## 製品保証規定

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品の販売店は、製品および本ドキュメントの使用に関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる表示・保証も行いません。

弊社は製品および付属のソフトウェア・ドキュメントについて、予告なしに改良・改訂を行う権利を有します。詳細については販売店までお問い合わせください。